

たまりば

2017 年度 春号

Communication
通信

◆ 発行日 2017 年 4 月 ◆ 発行 特定非営利活動法人フリースペースたまりば

〒213-0022 川崎市高津区千年435-10

TEL 044-833-7562

FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org

みんなで創る!これぞフェスティバル

とある秋の日のえんめしのあと…

「プロジェクトXやる人は集まってー！」

いつも騒々しいえんの中で、ひととき大騒ぎの一コマです。ついに、今年のフェスティバルに向けて動き出した日でした。プロジェクトXとは、フェスティバル全体のことを考え、企画・運営していくいわば実行委員会のようなものです。最初の仕事はテーマ決め。「フェスティバルってなに?」「たまりばってなに?」「どんなフェスティバルにしたい?」そんな話をメンバーを時折変えながら話し合います。あーでもない、こーでもないと言い合いながらも今年は「でっかくいこう!たまりばフェスティバル 2016〜祝 25 周年〜」に決定。

無事テーマが決まってからはさらに大忙し。チラシのデザインづくり、チケットの値段決め・デザインづくり、エントリー表作成、招待状づくり、タイムテーブル作成、当日パンフ作成、司会用あんちょこづくりに、めくり紙書き、看板づくりなどなど…あげたらきりが無いほどとにかくプロジェクトXは本番まで大忙し。今年はなかなか固定のメンバーが決まらず、みんながその都度得意なところで力を貸してくれるという感じでした。そんなプロジェクトXの努力の裏では、演者たちが着々と準備を進めています。早いグループでは、何か月も前から練習をしているところもありました。毎年恒



例となったものや、今年デビューのドキドキの人たち、数年ぶりに復活したバンド演奏など、各々が様々な思



いを込めて準備していきます。1週間前にもなるともうえんの中は大騒ぎ。あちこちで音楽が鳴り響き、そこら中でいろんなものをつくっています。ひと言でいうならまさにカオス…。そんなドタバタの準備が終わるといよいよ本番です。

3月4日(土)晴天の中、すくらむ21にて本番を迎えました。当日は400名ものお客さんが見に来てくれました。今年は昨年から3演目も増え、16演目になったこともあり裏方の人たちも大忙し。ロビーでは、作品展示や飲み物販売、お茶部による抹茶のふるまい、手作り品の販売など盛りだくさんでした。フェスティバルは、当日の裏方、照明、演者すべてを子どもたちが担います。そういった意味でも、誰一人欠けても成り立たないお祭りです。

演者たちの圧巻のパフォーマンスに、裏方さんたちはじめ陰ながら支えてくれるたくさんの仲間たちの力、一緒に思いきり楽しんでくれるお客さんによって今年も最高のフェスティバルを終えることが出来ました。終了後ロビーでの打ち上げの際の、ほどよい疲労感を感じさせながらもなんと満足そうなみんなの表情が印象的でした。来年はどんなドラマが見られるかな?また、1から創りあげる楽しさのあるプロジェクトXのメンバーも大募集です!

何はともあれ、みんなとにかくお疲れさまでした!!!!
みなさま、ぜひまた来年もお越しください!! (マサ)

NPO法人
フリースペース
たまりば
って…?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

春スキー合宿@玉原！



毎年1月に行っている米沢スキー合宿。なんと今年も雪がない！ということでまさかの中止に。

すごく楽しみにしていたのにこのままでは終われない！というみんなの思いにより、3月でもスキーができる玉原でスキー合宿をすることになりました。玉原は、以前「平センと森歩き」の企画でいったことがあり、今回お世話になった「水芭蕉」という宿にも行っていました。ごはんもおいしく、お風呂も最高！宿の方々もとってもステキでした。

初めてのスキー場で迷子にならないか少し不安だったけど、えんの人を見つけると一緒にリフトに乗って、リフトからえんの人を見かけると叫んで手を振って、ばったり会ったら一緒に滑り、、、と、広い空間だけどこかに必ずえんの人がいるという安心感。お天気にも恵まれ、それぞれのペースで気持ちよく滑れました。そして今回はスノーボー初心者向けのスクールにも入ってみました。ボードを付けて立つことも大変なのに、立って滑れるようになってびっくり。みんなどんどん上手くなっていったよ～。ソリを楽しめるエリアもあり、ひたすらソリで楽しんでいる人もいました。

そして今回の玉原スキー合宿の裏メインといってもいい「西やんと森歩き」。スキーやスノーボーをしない人たちと楽しもうと急ぎょ思いついた企画ですが、これが大人気！行くメンバーによって内容が変わるようで、大自然の中でのんびりするときもあれば、白熱の本気雪合戦もしたとか。みんながとっても満足そうに帰ってくるのが印象的でした。西やんも森にとっても癒されたみたい。

玉原スキー場にはナイターはなかったので、夕食後はみんなでのんびりタイム。勉強をしている人もいれば、ボードゲームやトランプで盛り上がっている人たちも。お風呂から上がった人たちがどんどん大広間に集まってきます。みんなが一緒にのんびりしているってなんかいい感じ。玉原スキー合宿も最高でした！（あかり）

新年も おいしく 楽しく♪



1月15日(日)、青空の広がる夢パークで「初夢！新春イベント」を開催しました。朝早くから町会の方たちを始め、たくさんのボランティアの方たちにご協力いただきました。ありがとうございました。もちつき体験、どんど焼き、書初め、かるた大会、ベーゴマ大会など盛りだくさん。小さい子から大人まで「よいしょー、よいしょー」と賑やかな掛け声のおもちつき。どんど焼きは青竹で立派な土台が組まれパチパチと大きな音。つきたてのおもちも手づくりの熱々豚汁もおいしかったね。大きな筆で書初めしたり、ベーゴマを回したり、めんこ、お手玉、おはじき、福笑いで遊んだり。今年もおいしくて楽しい新春イベントでした。(たかこ)

春だ！春だ！

「暑いから上着いらな～い！」。ちょっと汗ばむくらいぽかぽか陽気の3月17日(金)、東高根森林公園で「春だ！春だ！パーティー」を行ないました。この春から入学や進学をする人や、今のままを楽しむ人など、各々が近況を互いに報告したり、久々に顔を合わせたりする、この時期恒例のお楽しみ企画です。入学式や卒業式がないたまりばでの、一区切りの巣立ちの会としての意味もあります。

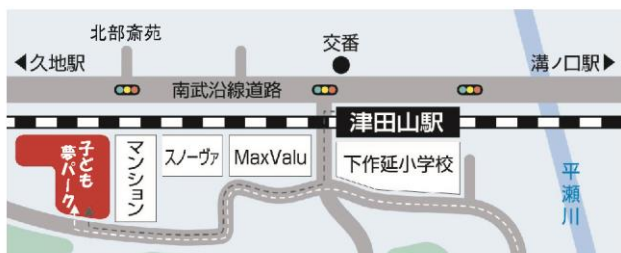
前日からみんなで一緒に作ったり、差し入れてもらったりしたとってもおいしい料理がズラリと並び、走り回る人や楽器を演奏する人、ボール遊びをする人などなど…、みんな思い思いの時間を過ごします。「みつけたよー！！」、「よし、捕まえろー！！」。今回はサワやウイが企画した「宝物探しドロケイ」も行ない、晴れ渡る青空の下、広々した芝生の上でみんなでワイワイ楽しめました。(しもん)



指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケ だより

「ブリュッケ」でも、「えん」と同じように毎日昼食を作ってみなで食べています。値段も「えん」と同じ毎食 250 円。基本は、ご飯、サラダ、味噌汁、おかずといった感じで、10 人くらいのメンバーの好き嫌いも考慮しながら食材を選んでいきます。「ブリュッケ」には、キャベツと大根を切ったら右に出る者がいない「千切り名人」がいます。そのおかげで、毎食美味しいサラダを食べることができます。歯触り最高です。それから、「さすらいの揚げ師」と呼ばれる人もいて、最近は頻繁にみんなが大好きな唐揚げやコロッケを絶妙な揚げ加減で食卓に提供してくれます。感動です。そして、毎月 1 ～2 回は「自分の食べたい物を作って食べる日」があって、誰かが自分の食べたい物を提案し、それをみんなで役割分担しながら昼食作りをします。これがまた絶品続きで毎回楽しみでしようがありません。美味しい物を食べると、心が豊かになります。食べ過ぎには注意しながらも、これからもみんなと豊かな時間を過ごしていけたらと思います。(佐藤)



HAPPY えん プリデイ

★フェスティバルに向けて衣装づくりも大忙しでした。お裁縫が得意なコハルが一日中ミシンを踏み、昨年いただいたいろいろな布を使って、次から次へと縫っていました。ミソラの青いスカート、ユメちゃんのりんご形の上着、アオイのブリキの人形…、アマナの人魚のドレスはカホが立体的裁断で体の線に合わせて作り、ステキな手作り衣装がたくさん出来ました。(たかこ)

★「面接ってなに答えたらいいの～!？」。今年度高校を受験したメンバーの中には、えんで面接練習をした人もいます。面談室などを使い、ノックして部屋に入るところから不意な質問への用意まで、初めての面接に向け気になるところを何度でも。ほどよい緊張感の中、とっても真面目に練習する姿は、いつもえんにいるときとはまた違った表情でステキでした。(しもん)

★ある日のお茶会ミーティングで「漫画エリアがいつもぐちゃぐちゃ」という声が。「もっと見える場所にしたらみんな片づけるんじゃない?」という意見で模様替えプロジェクトが結成された。レイアウトをメンバーで話し合い、大掃除の日に行行!こんなにあったのかとびっくりするほどの漫画の山を整理・移動して、えんの真ん中に豊の素敵な空間が完成しました。大変だったけどみんなでやりきり、漫画も今はきれいに並んでいます(笑)。(あかり)

西さんのつぶやき



子どもの貧困に関心が高まっている。沖縄県では子どもの貧困率が 30% 近いという調査結果が出て、1 年間に国から 10 億円、県から 5 億円が拠出されるようになり、わずかな期間に「子どもの居場所」が 120 箇所近くに急増したという。「子ども食堂」や「学習支援」の看板を掲げた団体が次々に予算獲得に乗り出した。貧困を他人事ではなく自分事として考え、何か私にできることをやろう、子どもたちの居場所を作ろうという機運はいい流れだと思う。

その一方で課題が噴出している。せっかく子どもたちのために場を開いてあげているのに、肝心の子どもが来ない。勉強を教えてあげようとしているのに、子どものやる気が感じられない。食べ方が悪い。もっとしつけをしなければ、学力をあげなければダメだ、とばかりに成果や評価を求めて、子どもにプレッシャーをかけ追い詰める。子どもの側に「問題」を見ようとするまなざしが子どもの居場所を奪っていく。さらに行政からの助成金ありきで始まった事業は、その財源がストップされた時に、果たして継続できるのか。はしごを外され、場を失って困るのは誰か。この問題に向き合い、課題を整理するために、このたび私の 20 年来の知り合いが運営する NPO と沖縄大学が共催でシンポジウムを開いた。『さとにきたらええやん』が上映され、私が基調講演をし、子どもの里の荘保さん達と共にシンポにも参加した。

そもそも「支援」とは何か。誰の何を支援するのか。子どもの居場所の主役は誰なのか。「たまりば」25 年の経験から学んだことは、かわいそうな子を助けてあげようとして上から目線でずり寄ってくるおとなが発する「支援臭」から子どもは逃げるということ。おとなが「良かれ」と思って導こう・指導しようという目線が、子どもを苦しめる。おとなの「してあげたい」に付き合わされる子どもたちが抱えるしんどさ。子どもが安心して失敗できる環境をつくる。子どもの「やってみたい」を保障しようとするれば、おとな自身の価値観が揺さぶられる。子どもとの関わりを通じて、おとな自身が変わることも求められ、成長させられていく。支援は決して一方通行ではありえないのだ。子どもの力を信じ、せめて、こういう風に生きていきたいと願う子どもの邪魔をしないこと。子どもの居場所を生み出す「まなざし」を、全国の仲間達としっかりと共有していきたいと思う。(西野博之)



オーガニックカフェ



TEL/FAX 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿原6-26-24 フジビル1F

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

夢パーク 毎日がプレーパーク

5月3日(水・祝)～5月7日(日)

☆ゴールデンウィークは夢パのプレーパークへ！どろんこ、水遊び、工具でものづくり…この際だから着替えを持ってきて、思いっきり遊んじゃおう！

フリースペースえん活動報告会

6月24日(土) 15:00～

☆2016 年度の活動報告を、フリースペースえんで行ないます。昨年はどんな一年間だったかな？いっしょに振り返ろう。

フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第1回 4月15日(土) 10:00～12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>

※2回目以降については
ホームページでご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます

(2016.12.17～2017.3.17)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。
なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

江藤省三、宇井新、清水善幸、石川富士子、齋木麻衣子、田老伸匡、竹内昭・太郎、山崎祐子、中村公一、赤野彩希、石橋充行・大吉、興水典久、大田祈子、松山朋子、常川恵子、澤畑勉、宮崎芳正、新田学、児島慎一・順子、柏倉敏和、大垣真理子、佐藤研二・真理、山本将也、武井哲郎、梅田美穂、佐々木ともの、清水利孝、奥出夏海、後藤みしお、新居千文、古川雅一・富美路、佐藤忠、大澤昭和、長谷川靖子、矢崎美穂子、藤井景子、村岡美和子、田邊恵佑、廣渡明子、鈴木健一、佐藤創楽、清水敏治、門田啓子、小林こはる、若杉慶嗣、森田彩夏、細見慶子、鈴木良一・咲和、神田真那、本間光子、竹村毬子、木内英紀、浦野麻子、友兼清治・悦子、町田恵美、細田和恵、鈴木綾子、山下美智代、中標津こどもクリニック、NPO法人ハートセラピー川崎 21、ボランティアステーション

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です！
月払い会員、年払い会員、個人会員、団体会員など各コースあります

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562 (光富)